

法人理念	障害のある子どもも、学校と家庭との往復生活ではない、豊かな放課後活動の実践をつくり出すことで、子どもが人間にふさわしく育っていくようにする。遊びや生活を中心にした実践を展開することで、子どもの人格の形成を実現することをめざす。そのことによって、障害のある子どもの放課後活動の社会的な位置を高める。		
支援方針	子どもが自らの意図を他者に伝えたり、他者の意図とのあいだで折り合いをつけたりする力を身につけるなど、人格の形成が図れるようにする。学校教育や家庭生活とは質的に異なった活動をつくり出すことによって、子どもが発達の主人公となり、自ら主体性を発揮できるようにする。		
営業時間	平日 14:30~17:30 学校休業日・休日 10:00~16:00	送迎実施の有無	学校への迎えあり

プログラム	支援内容（総合的支援としての5領域との関係）		
ダンス・音楽	フォークダンスなどの音楽やリズムに乗って踊ることで、心身の健康が維持されたり、身体的な運動機能が向上したりする。ほかの子どもや職員と一緒に、気持ちを通わせながら取り組むことで、コミュニケーションや対人関係の発展が図れる。		
あやとり・工作・描画	一定の目的を持って、対象に気持ちを打ち込みながら試行錯誤していくことで、手指機能の向上や、対象への認識の発達が図れる。思ったようにはいかない現実とぶつかって、自分の意図を調整することをつうじ、自分の気持ちに折り合いをつける力が培われる。		
おやつ調理	おやつを作って食べるという楽しみを支えにして、材料を調理していくことで、手指機能の向上や、対象への認識の発達が養われる。思ったようにはいかない現実とぶつかって、自分の意図を調整することをつうじ、自分の気持ちに折り合いをつける力が培われる。作ったものを運んで他者に渡すなどの活動をつうじて、コミュニケーションや対人関係の発展が図れる。		
縄跳び・バドミントン・ごっこ遊び	心身を伸び伸びと動かすことで、心身の健康が維持されて、身体的な運動機能の向上も図れる。一定のルールにもとづきながらも、活動しながらルールを変えていくことで、認識の発達が育まれる。ほかの子どもや職員と気持ちを重ね合わせながら集団的に活動することで、コミュニケーションや対人関係の発展が図れる。		
散歩・公園遊び・水遊び・虫捕り	屋外で心身を伸びやかに動かすことで、心身の健康が維持されたり、身体的な運動機能が向上したりする。歩行したり、虫捕りをしたり、遊具に取り組んだりして対象に気持ちを打ち込むことで、身体的な運動機能が向上したり、対象への認識が発達したりする。		
家族支援			
個別面談を行なうほか保護者を開く。保護者から申し出があれば、臨時的な相談に応じる。状況に応じて、きょうだいの会も開く。それらをつうじて、子どもや活動の状況を伝えつつ、保護者・家族の幸せに資するようにする。			
移行支援			
子どもの高等部卒業後の通所先や生活への、保護者の不安に対応するため、父母会が主催している、先輩の保護者の経験を聞く会や施設見学会などの開催に積極的に協力する。高等部卒業後に通所している作業所などから相談があれば、それに応じる。			
地域支援・地域連携			
父母会が主催するバザーやガレッジセールなどに協力して、子どもや活動への理解を地域住民に広げる。ときには、コンサートや映画上映会などを開催したり、書籍を発行したりして、子どもや活動への社会的な理解を広げる。			
職員の質の向上			
研修会や事例検討会の開催、場面記録の作成などをつうじて、子ども1人ひとりを深く理解する。たとえ問題にも見える行動に出会っても、そうした行動の内側には、その子なりの育ちへの願いや悩みが込められていることを汲み取る。関係する連絡会などが主催する、外部の学習会などへの参加も呼びかける。			
主な行事等			
初詣、節分、クリスマスなど、社会的な慣習に応じた行事のほか、親子行事などを開催する。			